

# 「みやぎ型管理運営方式」に関する県民向け事業説明会

令和2年2月1日開催

## 【主な質疑内容】

○コスト削減効果の247億円は、何年間での削減額となるのか。また、その根拠はなにか。

⇒20年間の削減額です。根拠は、人件費や薬品費など費目ごとに分類し、民間事業者からヒアリングしたそれぞれの削減率を乗じて算出しました。

○247億円(197億円)削減が民間事業者へのヒアリングのみというのは根拠が乏しいのではないか。

⇒ヒアリングに基づく数字ではありますが、その額をベースに民間事業者には総事業費を提案してもらうこととなります。

○今後、設備更新を任せることにより、設備に関する県のノウハウが維持できないのでは。

⇒県の浄水場等は、これまでも約30年間にわたって民間事業者が運転管理を担っており、県と民間事業者が連携して事業を運営してきました。県では、職員の技術継承や技術革新へ対応するため、様々な研修や技術マニュアルの整備など、技術の維持・向上に努めてきたところです。「みやぎ型管理運営方式」導入後においても、引き続き、県が管路の維持管理を担うほか、水道事業者として事業全体の最終的な責任を持つことから、これまで以上に人材育成と技術継承を図り、安全・安心な水の安定供給に努めていきます。

○民間事業者が間に入る中で、県民意見の反映をどう担保するのか。

⇒県民からの意見については、県がこれまでどおり責任を持って対応していきます。

○改正水道法は、市町村水道事業の経営基盤強化を目的にしている。「みやぎ型管理運営方式」でその目的が果たせるのか。

⇒昨年10月に施行された改正水道法は、人口減少など厳しい経営環境の中で、水道事業の経営基盤強化を図るため、広域連携や官民連携等の取り組みを推進することが盛り込まれました。

県の広域連携の取組については、昨年度から、環境生活部が中心となり検討を始めたところである一方、「みやぎ型管理運営方式」は、官民連携の推進により県事業の経営改善を図るものであり、市町村への供給単価の上昇抑制により市町村の水道事業の負担軽減につながるものとなっています。

○説明が不十分という指摘に対しどう反省しているのか。

⇒情報発信や説明はこれまでもやってきたところではありますが、そのような声があるのも事実です。今後も出前講座や説明会等を開催し説明の機会を設けてまいります。

○一番費用のかかる管路の更新をなぜ県の分担としているのか。

⇒「みやぎ型管理運営方式」の事業期間中には、管路の本格的な更新が行われないためです。

○大崎広域水道事業と仙南・仙塩広域水道事業とで料金の下げ幅に違いがあるのはなぜか。

⇒大崎広域水道事業は供給開始から約40年が経過しており、設備投資に必要な額が多くなっており、また、地域ごとの人口の減少幅や設備と管路の割合の違いなどもあり、このような試算結果となっております。

○（仮称）経営審査委員会には利用者も入れるべきではないか。

⇒本事業の運営状況について、中立的な立場で客観的な評価・分析を行う（仮称）経営審査委員会の委員については、技術や会計、法務等の専門家を想定しておりますが、利用者の視点も重要であると認識していることから、人選について現在検討しているところです。

○「みやぎ型管理運営方式」を導入した場合、下請となる会社が系列会社ばかりになってしまい、競争性が働かず、料金が高騰するのではないか。

⇒民間事業者が提案した事業費からの増額は基本的に認められず、料金改定要因は物価変動や需要変動等に限定されることから、そのような事にはならない制度となっております。

○リスク分担について、災害時のリスクをなぜ県が負わなければならないのか。

⇒災害復旧については国の補助金が活用できることから、県のリスクとすることが利用者の負担軽減につながるためこのような制度としております。なお、災害発生時には、県と運営権者その他関係機関とが連携して対応に当たります。

○施設の統廃合も考えていくべきではないのか。

⇒令和元年12月に県が示した現行体制の総事業費は、施設の統廃合やダウンサイジング等を行った場合のものであり、このような取り組みを行ったとしても料金上昇が避けられない見通しであることから「みやぎ型管理運営方式」の検討を始めたものです。

○外国の会社は参加できないようになっているのか。

⇒参加する企業には、日本法人であることを求めています。また、浄水場や下水処理場での一定規模・期間での運転管理業務の実績（※）が必要となります。海外企業が日本法人を設立したとしても、当該新規法人は実績がないため、「みやぎ型管理運営方式」に参加する場合は実績のある国内企業と連携する必要があります。

（※）詳細は宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）募集要項に記載